

【様式 1】

概 要 書

<p>研 究 名</p>	<p>地産材活用による全国植樹祭ウェルカムボードの意匠及び制作</p>
<p>民間機関等 (相手方)の名称</p>	<p>第 7 1 回全国植樹祭島根県実行委員会</p>
<p>研究の概要</p>	<p>第 7 1 回全国植樹祭島根県実行委員会では令和 2 年 5 月 31 日に開催される予定だった第 71 回全国植樹祭の開催に向けて、県民の皆様の機運醸成をはかるとともに、県民参加の森づくりを進めるため様々な活動を行っています。活動の一環として、森林や身近な緑への関心を高めるとともに、森林や自然環境に対する理解を深める島根県の豊かな森林を将来に引き継ぐことを目的として、県内の小中学校、高等学校で苗木のスクールステイの実施や、県内農業系高等学校生徒によるプランター制作を行っています。さらに、当日来場者を迎え入れる為のウェルカムボードの設営も行います。そこで、大会の開催理念や基本方針を広く周知啓発するための記念事業を実施するにあたり、貴校指導員及び学生と当実行委員会が共同でデザインワークに取り組み、その意匠、デザインを全国植樹祭会場用のウェルカムボードとして採用し、制作を行い材料となる県産材のさらなる利用拡大を検討しました。</p> <p>研究を通じて、県産木材の利用拡大につながるウェルカムボードが完成し、学生には、デザインワークを通じてのデザイン案の検討が行われ、利用拡大につながる成果がありました。また、製作を通じて加工法の様々な手段を試すことも出来ました。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和 3 年 5 月 30 日に延期されることになり、ウェルカムボードのお披露目会も延期となりましたが、島根県三瓶自然館サヒメルで植樹祭 200 日前イベントとして除幕式を実施しました。本来であれば、当日会場でしか見てもらう機会がなかったウェルカムボードですが、より多くの方に見てもらえる機会が増えました。除幕式ではテレビ局や新聞社などのメディア関係者も来訪され、テレビニュースや新聞にも複数取り上げられ全国植樹祭と当校の PR につながりました。</p>